

大宮西区

れんが 吉澤家住宅煉瓦蔵

吉澤家の6代目当主が営む宮町商店街の文具店「文具の蔵Rihei」の中庭に、明治24(1891)年に建てられた煉瓦造りの蔵が残されています。

明治時代、市内では煉瓦を使用した蔵が多く造られましたが、現存する蔵はほとんどなく、貴重なものとして平成27年3月26日に国の登録有形文化財に登録されました。

蔵は、大正12(1923)年に起こった関東大震災の被害にも遭い、復旧・修理を繰り返しながら受け継がれ、外壁は現在塗り壁となっています。外観から煉瓦造りであることはわからなくなりましたが、建物の内側の壁に煉瓦積みを見ることができます。

今も不定期で展示会や個展などが蔵で開催されており、多岐にわたって利用されています。

蔵は店舗の営業日に見学することができます。詳しくは店舗へお問い合わせください。

問 文具の蔵Rihei ☎27-2725



煉瓦蔵



蔵の内観

残された建築に関する記録

吉澤家の初代、2代目は油店を営んでおり、もともとは絞家^{しぼりや}※1が建てられていました。絞家は明治6~7年頃に火災に遭い、その後、3代目によって現在の蔵に建て替えられました。

3代目は自らが監督として工事に立ち会い、当時の工事の状況を『煉瓦蔵建築工事明細記』として残しました。

工事明細記には、蔵の材料である粘土の部分に「星山土」を使用したことや、大中里の山林からヒノキを伐採し、片方に石を結んで反対側に綱をつけて引くことで石を持ち上げる道具(図1)をつくっている様子が記されています。また、「雨天休」など、当時の天候や工事の様子なども伺えます。

※1 絞った油の貯蔵などをしておく場所



(図1)煉瓦蔵建築工事明細記に描かれた図



歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料** 500円
- 申** 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他** 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問** 文化課 ☎22-1187
- ✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック



歩く博物館H西コース<大宮西地区>
旧大宮町西地区をめぐるコース

市役所6階文化課、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。



ID 1769



問 文化課 ☎22-1187